

ぼうさいのとりくみ…ぼうさいマップ

◎わが家の避難場所は…

◎連絡先リスト

連絡先	連絡先の名前と電話番号	連絡先	連絡先の名前と電話番号
父 携帯			
職場			
母 携帯			
職場		ガス会社	
祖父母		電力会社	
祖父母		水道	
親 戚		消防署	119
親 戚		警察署	110
友達			
近所の人		災害用伝言ダイヤル	171
近所の人			災害のときに家族や親せき、友達に伝言ができます。 伝言をする 171 → 1 伝言を聞く 171 → 2
学校			

子どものための 防災MAP

自分の名前を書こう



わが家の非常持ち出し

地震が起きて避難する時に、なにを持っていくかを書こう。

--	--	--	--	--

ぼうさいマップは、災害がおきた時に必要な情報が1枚の地図にまとめられています。地震や洪水などがおきたときに被害が想定される場所をあらかじめ知ることで、災害に備えることができます。

いざという時のために、ふだんから近くの避難場所はどこか、避難経路はどこが安全か、緊急連絡先はどこか、などを確かめて、わかりやすいところに保管しましょう。最寄りの消防署や交番、病院なども記入しておきましょう。

また、日頃の備えや災害時の心得を記載していますので、大雨や洪水に対する備え、地震時の心得をよく読んで、災害への備えをしましょう。

札幌市でも作っています。お父さんやお母さんと防災マップを見ながらおうちのまわりにどのような危険箇所があるか、避難所や連絡方法などをお互いに確認をしましょう。

ぼうさいのとりくみ…おうきゅうであて



事故などで心肺停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心臓マッサージなどの応急手当を行う必要があります。

心臓が止まってしまうような重大な事故等は、いつ、どこで、何が原因でおこるか分かりません。心臓マッサージなどの救命措置をしなかった場合、心臓停止後3分、呼吸停止後10分で50%の人が死亡するといわれています。事故などにあつた人を助けるためには、そばに居合わせた人が応急手当を行うことが重要となります。

消防署などでは応急手当の講習を開催しています。いざという時のために、講習会に参加して応急手当の知識と技術を身につけておきましょう。

ぼうさいのとりくみ…ぼうはんパトロール



ひと がっこう きょうりょく あんぜん かくほ
ちいきの人たちや学校の協力などでちいきの安全を確保
しょうがっこう とうげこうじ みまも つうがくろ あんぜん
するために小学校の登下校時の見守りや、通学路の安全
てんけん ちょうない みまわ ぼうはん かつどう
点検、町内の見回りなどの防犯パトロール活動をおこな
っています。

ふしんしゃ み けいさつしょ がっこう たいいん つうほう
不審者を見つけたら、警察署や学校、隊員へ通報するな
あんぜん
ど、ちいきの安全をまもります。

ぼうさいのとりくみ…ひなんくんれん

がっこう ちいき おな
学校でおこなわれているように、地域のおとなたちも同

ひなんくんれん
じょうに避難訓練をしています。

ちょうないかい かいしゃ かじ
町内会だったり会社だったりとさまざまですが、火事や

じしん さいがい ひなん ひなん
地震などの災害がおこったばあいの避難ルート、避難の

ほうほう しゅうごうばしょ かくにん ていきてき おこな こと たいせつ
方法、集合場所の確認などを定期的に行う事が大切です。

けむり す ひなんほうほう ひなんきぐ つか かた おぼ
また煙を吸わない避難方法や避難器具の使い方を覚える

たいせつ
ことも大切です。



ぼうさいのとりくみ…しょうかくんれん



かさい はっせい
火災はいつどこで発生するかわかりません。

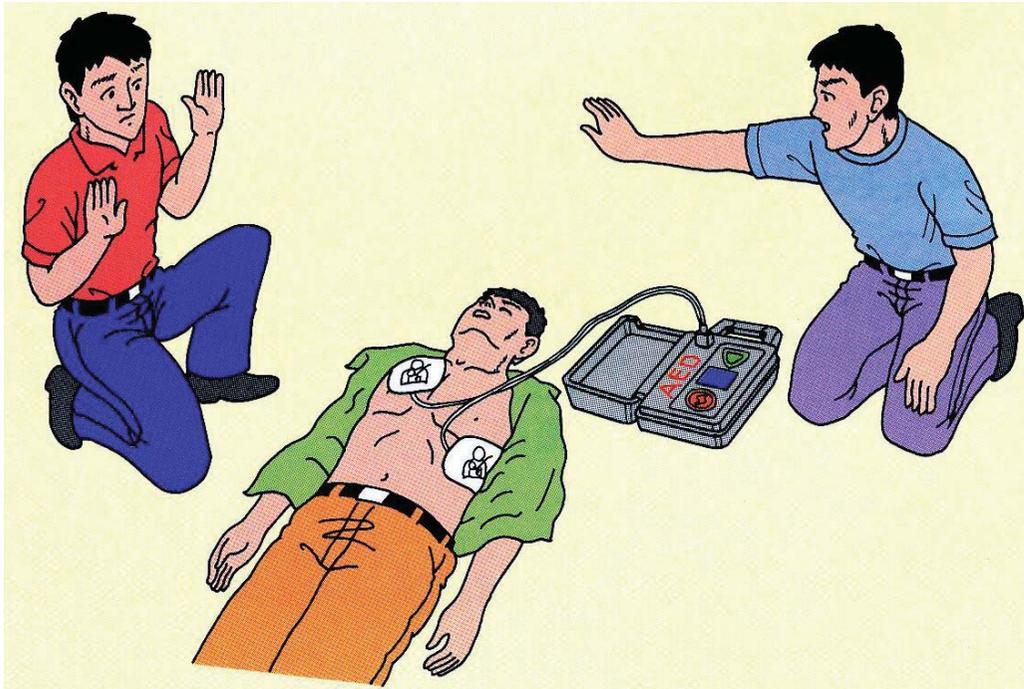
かさい さいしょうげん おさ しょうかき おくないしょうかせん つか
火災を最小限に抑えるために、消火器や屋内消火栓の使

かた おぼ じっさい つか つか かた おぼ
い方を覚えたり、実際に使ったりすることで使い方を覚
えることが大切です。

たいせつ
いざという時のため、パニックを起こさず『安全』で

かくじつ こうどう ひごろ くんれん あんぜん
『確実』に行動できるよう、日頃から訓練をしましょう

ぼうさいのとりくみ…AED



AEDは、「^{とつぜんしんぞう}突然^と心臓^{たお}が止まって^{ひと}倒れてしまった人」の
^{しんぞう}心臓の^{しんぞう}リズムを、^{しんぞう}心臓^{でんき}に電気^{あた}ショック^{ちりょうきき}を与えることによ
^{ふたた}り^{ただ}再び^{もど}正しい^{そせい}リズム^{ちりょうきき}に戻し、蘇生^{ちりょうきき}するための治療機器で
す。

^{くうこう}空港^{えき}や^{ふとくていたすう}駅^{ひと}、^{でいり}ホール^{でいり}など不特定多数の人たちが出入りする
^{ばしょ}場所に^{せっち}設置してあります。

^{きゅうきゅうたいいん}救急隊員^{いっばんしみん}だけではなく、一般市民も^{つか}AED^{つか}を使うことが
^{こうしゅう}できるようになりましたので^う講習^{つか}などを受けて^{かた}使い方を
^し知^しっておきましょう。